

組付要領書及び部品表

Takakita

Mix V-7

MX1600用

MX-JBS

1～35号機
61号機～



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本組付要領書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**M i xソーワ用J B Sキット**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。

また、ご使用前にはM i xソーワ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付してお渡しください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または弊社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

⚠危険 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠警告 その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠注意 その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

⚠ 警告

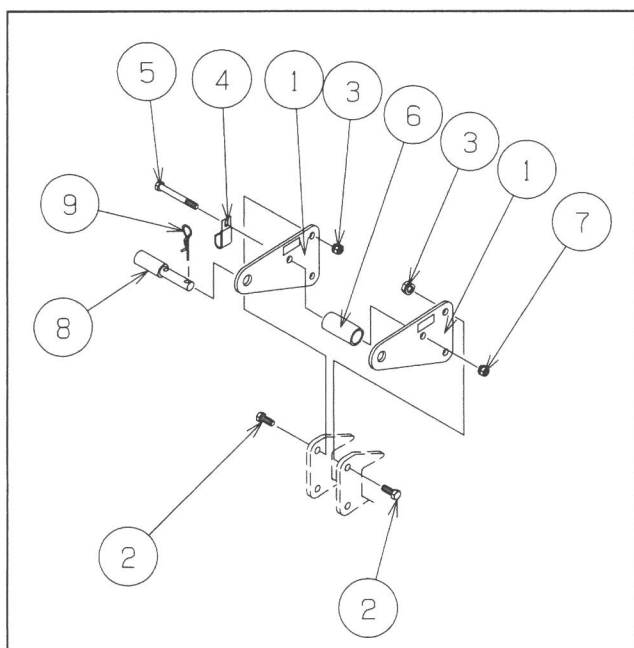
- トラクタへの本機の装着は平坦で安定した場所で行ってください。
- 3点リンケージへの装着はリンケージの動きに十分注意し、二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
- ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを停止し、PTOを切ってから確実に取付けてください。

1. JBSヒッチの組付け

◆組付け手順

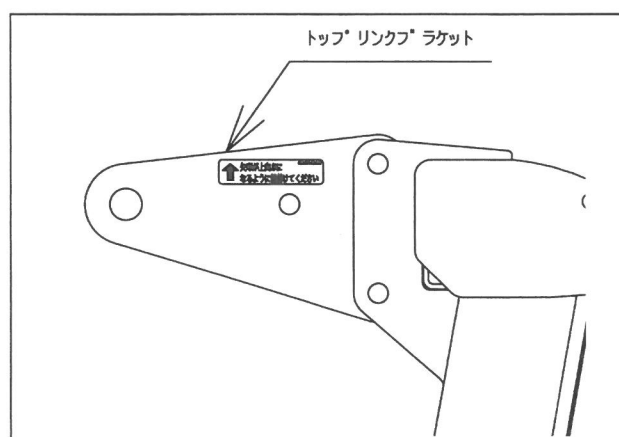
[1] トップリンクブラケット関係の組付け

①トップリンクブラケットを、本機フレーム側トップリンク部の内側に、②ボルト(M12×35)で組付け、③スプリングナットで固定してください。④クランプと共に、⑤ボルト(M12×80)を下図の様に差し込み、間に⑥スペーサーを入れて、⑦スプリングナットで固定してください。次に⑧トップリンクピンに通過させて⑨アールピンで止めてください。



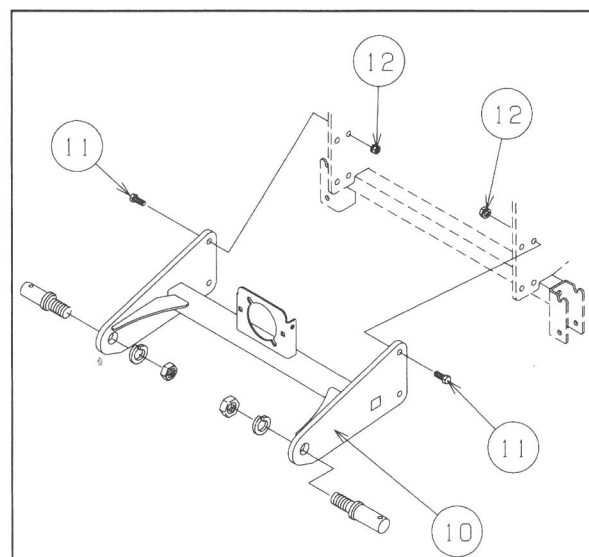
注意

①トップリンクブラケットは下図の様に、矢印が上側になるように組付けてください。



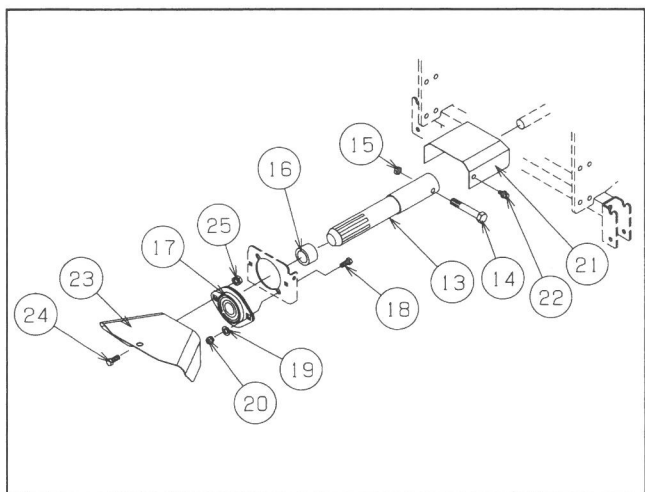
[2] フレーム関係の組付け

本機フレーム側でのロワーリンク部の進行方向後側の穴に、⑪ボルト(M12×40(8T))、⑫スプリングナットで、⑩ロワーリンクブラケットを外側に組付けてください。



[3] 軸関係の組付け

MX本機の軸に⑬スプラインニューリョクジクを差し込み、⑭セットボルト(M8×45)、⑮スプリングナットでしっかり固定してください。⑬スプラインニューリョクジクに⑯カラーを差し込み、⑰ベアリングをイモネジ部が本機側になる向きで、ロワーリンクブラケットのトラクタ側から⑱ボルト(M10×25)⑲ヒラザガネ⑳スプリングナットで組付けてください。そして、㉑PTOカバーを㉒ボルト(M8×20(コガタ・3P))でロアリンクブラケットに取り付けて下さい。次に、㉓PTOカバーを㉔カクネボルト(M8×20)と㉕スプリングナットで固定してください。

**注 意**

ベアリング組込み時は、スプライン入力軸がブラケット穴の中央で組付けられていることを確認してください。ズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。

[4] スタンドの取付け

次頁の組立完成図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5] 仮ドッキング

入力軸を手で回し、アジテータがスムーズに回ることが確認できたら、トラクタにドッキングしてください。

2. 3点リンケージへの装着のしかた

◆3点リンケージの装着順序

左のロワーリンク、右のロワーリンク、トップリnkの順序で取付けてください。

◆トップリnk連結穴位置は

トラクタ側のトップリnk連結位置は、トップリnkとロワーリンクが最も平行に近い位置で取付けてください。

◆トップリnkの長さの調整

トップリnkの長さで本機のトラクタへの装着後の水平状態を調整します。標準作業時で、シャッター部の地上高は約30cmです。(詳細は作業方法の項参照)

◆チェックチェーンで横振れ調整

運搬時および作業時、本機の横振れを防止するために、チェックチェーンでトラクタ中心と本機中心が一致するように左右均等に調整固定してください。

3. ユニバーサルジョイントの取付け

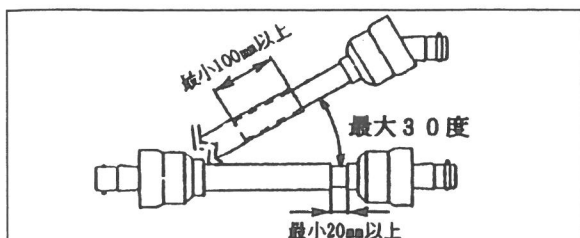
◆ユニバーサルジョイントの取付け順序

本機入力軸に取付けてから、トラクタPTO軸に確実に取付けてください。

◆ユニバーサルジョイントの長さ確認

ジョイントの長さは、3点リンケージによる本機の上昇・下降により変化します。ジョイント長さが長すぎないかを確認してください。

長すぎるときは、次頁図の寸法が確保できるように切断してください。



注 意

作業時のジョイント角度は最大30度を超えないよう調整をしてください。30度を超えるとジョイント破損の原因となります。

◆カバー回転止めチェーンで固定を

ユニバーサルジョイントのカバーが回転しないように、チェーンに余裕をつけてしっかりと固定してください。

! 注 意

使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているか必ず確認をしてください。

注 意

- 機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンク持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

◆組立完成図

《M X - J B S》

1号機～35号機

61号機～

